

JAPIC NEWS

財団法人 日本医薬情報センター (JAPIC)



5
2008

Contents

- 巻頭言
まだ見ぬ美しき Gardener
アステラス製薬株式会社 営業本部DIセンター所長 小林 英夫 2
- インフォメーション
「平成20年度JAPICユーザ会」開催案内 4
「第130回薬事研究会」を開催します 4
「JAPIC医療用・一般用医薬品集インストール版2008年4月版」発売 4
平成20年度事業計画について 5
- 海外で承認された医薬品 (4) 6
- トピックス
医薬品類似名称検索システムサービス 8
「理事会」「評議員会」の概要報告 10
- コラム
くすりの散歩道 No.12 身近な生薬学-知っておきたい園芸毒草-
(財)日本医薬情報センター 榊原 統子 11
- 図書館だよりNo.215 12
- 情報提供一覧 12

No.289

まだ見ぬ美しき Gardener

アステラス製薬株式会社 営業本部DIセンター所長

JAPIC理事 小林 英夫 (Kobayashi Hideo)



関西を中心とした長年の営業現場を経て本社デスクワークとなり、極端に減少した運動量を少しでも増やせればとの思いで階段は歩いて上るようにしていた。しかし一日数回の階段の上り下りだけでは所詮自己満足の域を超えない。そんな期間が2年位続いただろうか、健康診断の結果は確実にメタボリックシンドロームへと傾いていった。そして一昨年のゴールデンウィーク中のこと、ベランダで旅行前の花の世話を終えた瞬間……立ち上がれない。人事不省、ギックリ腰だ。楽しみにしていた旅行は半額のキャンセル料と共に消えた。ゴールデンウィークは苦痛のうちに過ぎ、這うようにして入社したわが姿態を見る部下は「お大事にしてくださいね」と言うものの、何ともぶざまな姿に失笑を隠さない。

このような経緯から、一日一万歩を目標に出勤時に最寄駅の二つ前の駅で下車して30分ほど歩くことにした。歩く中で感じたのは、東京は大阪と違い意外に緑が多い。街路樹の花や公園の木々が季節を感じさせてくれる。冬の椿、春のモクレン、桜に続き花水木、つつじなど毎日歩くようになってからそれまで見過ごしていたものに目を留めるようになってきた。そんな楽しみを与えてくれたのがギックリ腰だとは皮肉なことである。また休日の朝、妻と共に近隣を散歩(妻は徘徊と言う)するようになった。季節は初夏、

家々の庭先の花は咲き誇り、目を楽しませてくれる。そんな朝のひと時が一日を充実させてくれる。日頃通るルートとは外れたところに、ちょっと気になる庭がある。それほど大きい庭ではないが、枝葉の広がり意識した空間のバランス感覚、また季節の色を想像させる植栽と繊細な花の配置は、美に対する感性を感じさせる。その庭の作り手「まだ見ぬ美しきガーデナー」は、何十年前に忘れてきた淡い青春のときめきを甦らせる。しかしこのたぐいの話は一瞬の落胆で終わることが多い。「まだ見ぬ美しきガーデナー」への思いは「永遠に見ぬガーデナー」として胸のうちに秘めておくのが無難であるかも知れない。運動がてらの借景の楽しみは、いつの頃からか自分の庭を造ってみたいという思いに変わっていった。そうなる今までのゆったりと季節を感じる散歩が不動産屋のように、日当たり、風通し、水はけの良い物件探しの歩きが変わってくる。そんな散歩に嫌気がさしたのかいつしか妻は同行しなくなり、危ないおやじの徘徊へと変貌していった。

30年の営業現場生活の間に10回の転居を経験した。その時選択した住まいは常にマンションで、5年前故郷の東京に戻ってきたのを機に購入したのもやはりマンションだった。以前より戸建の魅力を感じないわけではなかったが、それにも増してマンションの安全性、使いやすさを妻も私も評価していた。そんな魅力のあるマンション生活だが、

運動不足解消のための散歩に端を発した自分の庭を造ってみたいという気まぐれで、戸建へ住み替えようと言うのでは、妻への説得性に欠ける。そんな庭への思いは、定年後の楽しみに準備しておくのも悪くはないと思う一方、この熱病は続くのだろうか、途中で投げ出してしまおうのではないかと自問自答する。しかしやってみたい。思いは募りいろいろな可能性を考えた。もしかしたらもっと郊外だったら買えるかも知れないとか。しかしそれでは何のための庭か意味がなくなり選択肢としては消えた。遠い郊外に別荘を持った人曰く、「行くのに何時間もかかるので行く回数がだんだん減って、たまに行っても草刈ばかりしていた。」であった。

これらを参考に場所選びのコンセプトを決定した。自宅から散歩がてらいける距離であることと、日当たりが良く安価であることである。

不動産は骨董品などと違って掘り出し物はあまり無いようである。安い物件には安いなりの理由があるそうだ。そんな事で気長にインターネットでの検索、折り込み広告や不動産情報サイトから物件情報を集めた。その頃は近隣の土地の情報は不動産業者が感心するぐらい知っていた。不動産業の人から「お客さんの予算でそんな条件の物件があったら私どもが買いたいですね」などと嫌味もつかぬことを言われたこともあった。問題は予算の少なさであるのは明白である。そんな状態で半ば諦め気味で、熱も冷めかかっていた時、久しぶりにインターネットで物件の検索をしていたところ、価格順リストの先頭の最も安い物件があった。家から結構近い、日当たり抜群、三方公道、価格は近隣の半値以下、散歩がてら見に行った。三方道路間違いなし、ひな壇で東側、南側遮蔽物件なし、日当たり抜群間違いなし、北側は自然公園ですばらしい借景である。当然ながら、何かがあるはずである。あった、あった、いっぱいあった。対応しなければならない条例はセットバック条例、崖条例、その他として水道引き込みなし、ガス

なし、車両が入れないなどなどである。日本にはたくさんの法律があって家を建てようにも規制でがんじがらめになってなかなか思い通りにはいかない。結果としてその土地には一般的な広さの家は建てられないのだが、私にとってはそんなことは全く問題ではなかった。何故ならそこには植物が育つ条件がすべて整っていたからである。そして小さな、小さな小屋を建てるスペースもどうにか確保できた。

私の車は十年を超え少々くたびれている。そろそろ買い替え時なのだが、庭造りの思いを実現させるには、家計を考えると車は諦めねばならない。そんな訳で車を自転車に乗り換え、我が家の経済問題解決とエコ問題への貢献を両立させることにした。また私が植物を育てることで少しでも地球温暖化の抑制に貢献できることを願って「まだ見ぬ美しきガーデナー」への思いと共に小さな庭を大切に育ててゆきたい。

Information インフォメーション

「平成20年度JAPICユーザ会」開催案内

平成20年度の「JAPICユーザ会」を下記の要領で開催いたします。

今回は平成20年度JAPICの事業計画概要と新規事業・重点化事業についてご紹介させていただきます。特別講演として東京会場と大阪会場において、(独)医薬品医療機器総合機構顧問 三瀬勝利先生に「変貌する食中毒と安全対策」をお話していただきます。多数のご出席をお待ち申し上げます。

日時・会場	東京／平成20年6月10日(火) 13:00～18:30 長井記念館ホール 大阪／平成20年6月12日(木) 13:00～18:30 大阪ガーデンパレス2F葵の間(大阪市淀川区西宮原1-3-35)
参加費	無料
申込方法	JAPICホームページ(入力フォーム)からお申込みください
プログラム	13:00～ 受付開始 13:30～13:35 主催者挨拶 13:35～16:00 ・平成20年度事業計画概要 ・各事業の現況と今後の取組み (途中休憩／コーヒータイムをはさみます) 16:00～17:00 特別講演「変貌する食中毒と安全対策」 (独)医薬品医療機器総合機構 顧問 三瀬 勝利 先生 17:10～18:30 懇親会

「第130回薬事研究会」を開催します

薬事研究会を下記により開催いたします。2008年度診療報酬改定について、社会保障制度での後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用と情報提供のあり方について、行政、企業、および医療機関の立場からご講演いただきます。

日時	2008年5月13日(火) 13:30～16:35
会場	科学技術館 サイエンスホール(東京都千代田区北の丸公園2番1号) TEL 03-3212-8448
参加費	資料費および会場費としてJAPIC会員 1名 3,000円/非会員 5,000円(当日会場でいただきます)
申込方法	JAPICホームページ(入力フォーム)からお申込みください
プログラム	13:30～13:35 主催者挨拶 13:35～14:35 「2008年度診療報酬改定について」 厚生労働省保険局医療課課長補佐 渡邊 伸一 先生 14:35～14:45 (休憩) 14:45～15:45 「ジェネリック医薬品と信頼性向上について—品質、情報提供など」 企業の立場から:日医工株式会社医薬情報部長 熊田 重勝 先生 15:45～16:35 「ジェネリック医薬品の使用と医薬品情報について」 医療機関の立場から:東邦大学医療センター大森病院薬剤部部長補佐 飯久保 尚 先生

「JAPIC医療用・一般用医薬品集インストール版2008年4月版」発売

2008年4月下旬に「JAPIC医療用・一般用医薬品集インストール版2008年4月版」を発売いたしました。

■仕様

- ◎医療用および一般用医薬品の自由語検索・規制情報検索、医療用薬の薬剤識別コード検索などの検索機能を搭載し、医薬品集本文表示機能、iyakuSearch掲載医療用薬添付文書PDFへのリンク・各種情報表示機能を搭載。
- ◎医療用医薬品集本文編集・テキスト出力機能・採用品データ引継機能などの院内採用医薬品集作成補助機能、YJコードリストから採用品への一括登録ツール(Windows専用)も収録。Windows・Macintosh対応。なお、収録データの増大に伴い、提供媒体はDVD-ROMとCD-ROMの2種類になります(内容・価格などは同一です)。

■収録データ

【医療用医薬品データ】:2008年3月までのJAPIC入手添付文書に基づくJAPIC医療用医薬品集添付文書情報・薬剤識別コードデータおよび薬価データを収録

【一般用医薬品データ】:2008年3月までのJAPIC入手添付文書に基づくデータを収録

■価格・お申し込み

15,000円(税・送料込)年間セット(1・4・7・10月版の4枚セット) 25,000円(税・送料込)

まとめてご購入いただく際には割引制度などもございますので、事務局 業務・渉外担当(TEL 0120-181-276/FAX 0120-181-461)まで、お問い合わせください。



平成20年度事業計画について

JAPICの第二期中期三カ年計画の施行は平成20年3月末を持って終了し、20年4月より第三期中期三カ年計画（H20年4月～H23年3月）の実施が始まりました。この第三期中期三カ年計画およびそれに基づく平成20年度事業計画については、（案）が昨年8月、11月の事業委員会および11月26日の理事会での討議を経て策定され、本年3月12日の理事会で承認されました。

第三期中期三カ年計画は、「JAPIC事業の一層の発展のための計画」、「JAPICデータベースの拡大及びユーザの利便性のための改良・開発」、「医薬品情報提供サイトの構築」、「JAPICの情報普及及び知名度向上」の4施策から成り立っており、その基本的な考えは以下のとおりです。

第一に既存のJAPIC主要事業はそのユーザの要望等に従って提供情報の利便性を高め、内容・品質等を更に充実し、またデータベースのシステム更新等を行い効率化することです。第二に医薬品に関し、有用と考えられる新たな情報のデータベースを構築・追加し、数量的にも拡大し、ユーザの皆様を提供することです。そして三番目として既存、新規のJAPICデータに加えて、JAPIC外の有用な医薬品情報関連サイトとリンクを貼ることで、JAPICのサイトに入れば多くの医薬品情報が便利に見られるよう検討することです。JAPICの情報は基本的には医療専門家向けですが、一般にも有用と考えられる情報については出来るだけ公開して一般の方々が必要時利用出来るように努める方針です。

四番目として、JAPICの知名度は医療専門家の中においても高いといえず、またその情報も使用頻度が伸びているとは言いがた、未だ十分に活用されているとは云い難く忸怩たるものがあります。Web媒体、その他の諸々の手段を講じてJAPICの知名度を上げると同時にその情報を出来るだけ多くの関係者に利用してもらうよう行動したい。

首記のような考えの4施策を基にした、平成20年度の事業計画の重点項目について概略説明します。

1 JAPICの現事業の一層の発展のための事業

①添付文書データ(含病名データ)の拡充 添付文書データをより普及させるため、既存データに加え平成19年度から新たに企画している相互作用、用法用量、禁忌等の個別データを構築・付加して、添付文書関係データの拡充を図る。また、平成19年度に病名データを大幅に拡張・改訂したが、この病名データの普及を図る。

②医薬文献・学会情報(JAPIC-Q, Q plus, QX等)データベースの改善・拡充 システム改良を引き続き行いユーザに利用され易いように改善する。この文書管理システムについては本年度中に辞書整備等も含め、大規模に変更するかどうか結論を出す予定である。更に平成19年4月から開始したQXサービスの普及を図る。

③海外規制措置情報(JDM)及びRegulations Viewの拡充・普及 JDMの採択対象ホームページは現在国外6カ国、EU、WHO、国内計77サイトであるがニュージーランドを追加する予定である。また、製薬会社等利用者の要望に個別に応じるJDMエクストラサービスの企画を行い、システム改良を行う。

④医薬品集関連商品の開発 医療用医薬品集とは別に、その派生商品として現場の医療関係者が便利で使い易い医薬品情報を集積した冊子の制作を企画する。またその一環として平成20年3月に医薬品集の重要事項を抜粋した「医療用医薬品集 普及新版 2008」を刊行したがこの普及に努めたい。

2 JAPICデータベースの拡大

平成19年度末に導入した「厚生労働省類似名称検索システム」の安定的稼働を図り、「既存医薬品名称検索」及び「新規医薬品名称検索」を医療関係者に供する。また、データベース数拡大の一環として、研究開発情報である「適応外使用データベース」など有用な情報についてデータベースの構築の検討を図る。

3 医薬品情報提供サイトの構築

前記JAPICが維持、公開しているデータベースに加えて他機関の国内外の有用な医薬品関係の情報、例えば海外の添付文書等を可能なものからリンクし、JAPICのサイトで有用な多くの医薬品情報が検索出来るような専門サイトの構築を企画、検討する。

4 JAPICの情報普及及び知名度向上

JAPIC情報のより一層の普及を図る。特に以下のデータベース、冊子等の普及に注力する。添付文書データ、病名データ等のデータベース 医療用医薬品集、一般用医薬品集及び添付文書記載病名集、iyakuSearch、院内医薬品集編集機能をもつJAPIC PIA等である。また、会員数の増加、特に診療所、薬局等のG会員勧誘を関連組織に働きかけ、ダイレクトメール等を通じて促進する。

以上が重点事業の概ねの計画内容です。JAPICを取り巻く状況の変化も激しいことからFlexibleな考えを持って事業を遂行していきたいと考えています。加えて事業委員会などでIT化に伴う事業面、また管理面のセキュリティ対策について提言があり、これを受けて平成20年1月に「危機管理・災害対策プロジェクト」を立ち上げ、情報管理体制の整備及び事業継続性の確保について課題点を年度末に纏めました。入退室管理の厳格化、重要な事業のデータ/システムのバックアップ化の拡充等に優先順位を付けてセキュリティ対応を進めていく予定です。会員の皆様方に置かれましてはJAPICの今後の事業計画についてご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

(理事・事業部門長 山地 正克)

海外で承認された医薬品(4)

JAPICでは、医薬品の有効性・安全性・規制・承認に関する海外の情報を収集し、各種媒体で提供を行っております。本シリーズでは、海外で承認された医薬品のうち、米国、EUにおける新有効成分(New Molecular Entity:NME) 医薬品を中心に随時紹介します。

米国:新規の抗HIV薬 Intelence (etravirine) 承認 承認日:2008年1月18日

米国FDAは、Tibotec TherapeuticsのIntelence (etravirine)を承認した。他の抗レトロウイルス剤による治療に失敗した成人のHIV-1感染患者の治療に、他の抗レトロウイルス剤との併用で使用される。100mgの錠剤で、通常200mgを1日2回食後に服用する。

Intelence の活性成分etravirineは新有効成分医薬品で、2007年9月に優先審査薬(priority review drug)として指定された。etravirineは非ヌクレオシド逆転写酵素阻害剤(NNRTI)である。他の抗HIV薬との併用により、etravirineは血中HIV量を減少させ、白血球を増加させる。さらに、免疫系低下により起こるおそれがある死亡のリスクまたは感染症を減少させる。

Etravirineの承認は、2つの無作為化二重盲検プラセボコントロール試験におけるetravirine投与を受けた成人患者599例のデータに基づいて評価された。24週間治療後、プラセボと基礎療法(background therapy)を受けた患者よりも基礎療法(background therapy)とetravirine投与を受けた患者の多くに血中HIV量の減少が認められた。

最も一般的な有害事象は発疹と嘔気であった。薬物相互作用を回避するため、etravirine治療を開始する患者は、服用している全ての薬剤について医師および薬剤師に伝えるべきである。警告・使用上の注意には、まれなケースとしてスティーブンス・ジョンソン症候群、多形紅斑など重

篤な皮膚反応が報告されている。Intelence 投与患者は、日和見感染症など、感染症が発現する可能性がある。

Intelenceは16才以下の小児における安全性と有効性は研究されていない。また、妊婦においても研究されていない。妊娠した場合、妊娠中の使用について医師または医療専門家に相談し、Antiviral Pregnancy Registryに登録するよう助言すべきである。

(EU:2007年7月申請)

米国:慢性リンパ性白血病治療薬 Treanda (bendamustine hydrochloride) 承認 承認日:2008年3月20日

米国FDAは、CephalonのTreanda (bendamustine hydrochloride)を承認した。慢性リンパ性白血病(CLL)患者の治療に使用される。chlorambucil以外の第一選択治療薬と比較した有効性は確立されていない。Treandaはbendamustine hydrochloride 100mgを含有する注射用バイアルで30分かけて点滴静注される。

Treandaの活性成分bendamustineは新有効成分医薬品で、2007年8月にオーファンドラッグとして指定され、同年12月に優先審査薬(priority review drug)として指定された。プリンアナログとアルキル化剤のハイブリッド化合物である。

Treandaの安全性と有効性は、未治療のCLL患者301例におけるTreandaとchlorambucilを比較するオープンラベル無作為化多施設コントロール試験において評価された。Treanda投与患者はchlorambucil投与患者



よりも全体の応答率および無増悪生存率 (PFS) において統計学的に有意な改善が認められ、応答率はTreanda投与患者で59%、chlorambucil投与患者で26%、PFSの中央値はそれぞれ18ヵ月、6ヵ月であった。

最も一般的な有害反応は好中球減少、発熱、血小板減少、嘔気、貧血、白血球減少、嘔吐であった。警告・使用上の注意には骨髄抑制、感染症、注入反応とアナフィラキシー、腫瘍崩壊症候群、皮膚反応、妊娠中の使用などの記載がある。CYP1A2誘導剤または阻害剤との薬物相互作用の可能性が添付文書に記載されている。bendamustineまたはmannitolに対して過敏症の患者には禁忌である。

(国内:B細胞性非ホジキンリンパ腫の適応でPhase II)

**米国:うつ病治療薬
Pristiq (desvenlafaxine) 承認
承認日:2008年2月29日**

米国FDAは、Wyeth PharmsのPristiq (desvenlafaxine) を承認した。選択的セロトニン・ノルエピネフリン再取り込み阻害剤 (SNRI) で、大うつ病性障害 (MDD) の治療に使用される。Pristiqの活性成分desvenlafaxineは新有効成分医薬品である。徐放性経口剤 (錠剤) で、推奨用量は50 mg1日1回である。

Pristiqの有効性は、MDDのDSM-IV基準に合致した成人患者における4つの8週間にわたる無作為化二重盲検プラセボコントロール固定用量試験 (50mg/日~400mg/日) において評価された。Pristiqは、4つの試験において17-item Hamilton Rating Scale for Depression

(HAM-D17) 総スコアの改善、および4つの試験中3つにおいてClinical Global Impressions Scale-Improvement (CGI-I) による全体の改善でプラセボより優れていることが示された。50mg/日と100mg/日を直接比較する試験では、50mg/日を超える用量がさらなるベネフィットを与えるとのエビデンスは示されなかった。

有害反応は嘔気、眩暈、不眠、多汗、便秘、傾眠などであった。警告・使用上の注意には臨床的悪化/自殺リスク、セロトニン症候群、血圧上昇、異常出血、峡谷角緑内障、躁病/軽躁病の活性化、コレステロール/トリグリセライド上昇などの記載がある。禁忌として、本剤はMAO阻害剤とともに使用しないこと、またはMAO阻害剤中止後14日以内に使用しないこと、desvenlafaxine succinate、venlafaxine hydrochlorideまたはPristiqの賦形剤に対する過敏症が記載されている。

(EU:大うつ病の適応で申請中、国内:更年期障害の適応でPhase I)

出典:FDA Newsなど

(医薬文献情報担当・海外)

トピックス TOPICS

医薬品類似名称検索システムサービス

サービスの概要

「医薬品類似名称検索システム」は医薬品名称の類似性によって起こる製品取り違え事故を防止する手段のひとつとして開発されたもので、名称の類似性について各種の指標を示して、類似性を客観的に評価するためのシステムをWebで提供しています。

承認された既存の医薬品名称相互の類似性を確認する既存医薬品名称検索と、新規名称を含む任意の医薬品名称相互の類似性を確認する新規医薬品名称検索のふたつのサービスがあります。

既存医薬品名称検索

既存医薬品名称検索は承認された医薬品相互の類似性を客観的に評価するための指標数値を提供いたします。選択したひとつの既存医薬品名称とそれ以外の医薬品名称の類似性を検索する機能と、選択したふたつの既存医薬品名称相互の類似性を検索する機能があります。

例えば、医療関係者の方が院内採用薬の選定の際に、採用予定医薬品名と既存の採用薬の名称との類似性を確認する等の目的に利用することができます。

このサービスは無料で公開しておりますので、病院・薬局などの医療関係者を始め、ひろくどなたでもご利用いただくことができます。

URL: <https://www.ruijimeisho.jp/>

新規医薬品名称検索

新規医薬品名称検索は新規名称を含む、任意の医薬品名称との類似性を客観的に評価するための指標を提供いたします。また、新規医薬品名称検索の検索結果には、薬効分類名、製造・輸入会社名などの付加情報がリンクしています。

このサービスは登録利用者を対象とした有料のサービスです。

新規医薬品名称検索 利用方法

新規医薬品名称検索はお申込み後、JAPICにて利用者登録を行います。登録内容を確認後、有効期間を指定したパスワードを発行いたしますので、パスワード交付時にお送りするURLへアクセスしてください。パスワードは月曜日から金曜日までの5日間有効です。有効期間中は何回でもご利用いただくことができますが、ひとつのパスワードでアクセスすることができる方はお一人です。同じパスワードを使って複数台のパソコンから同時にアクセスすることはできませんので、ご注意ください。

新規医薬品名称検索 申込み方法

「類似名称検索システム 新規医薬品名称検索申込フォーム」をご用意いたしました。

URL: <https://www.ruijimeisho.jp/Registration.aspx>

こちらに会社名、部署名、氏名、メールアドレス、請求書送付先等、必要事項をご記入のうえ、お申込みください。お申込みの際に、ご利用期間をご指定ください。なお、パスワード発行業務の都合上、ご利用予定の前週の木曜日までにお申込みください。

新規医薬品名称検索 利用料金

新規医薬品名称検索は有料のサービスです。

JAPIC会員機関	52,500円
非会員機関	105,000円

上記料金で月曜日から金曜日まで利用することができるパスワードをひとつ発行します。

検索対象のデータ

医療用医薬品の販売名を基に検索対象の医薬品名称データを作成しております。薬価収載時に名称データの更新を行っておりますので、承認申請中の新規名称は検索の対象となりません。承認申請を予定している新規の名称と既存医薬品名称との類似性は、新規医薬品名称検索でご確認ください。

お問い合わせ

本システムでの検索結果や医薬品名称の類似性を評価する指標に関するお問い合わせには、回答することができませんので、あらかじめご了承ください。

また、よくある質問をFAQとしてまとめております。お問い合わせいただく前に、一度ご覧ください。

代行検索

従来どおり個別の依頼に基づく検索業務は引き続き行います。

既存医薬品名称検索



▲ トップ画面



▲ 検索画面



▲ 検索結果画面

新規医薬品名称検索



▲ トップ画面



▲ 検索画面



▲ 検索結果画面

URL: <https://www.ruijimeisho.jp/Faq/Question1.aspx>

JAPIC事務局業務・渉外担当
TEL 0120-181-276 FAX 0120-181-461

「理事会」「評議員会」の概要報告

3月10日(月)に第22回評議員会、12日(水)に第108回理事会を開催いたしました。議題と主な内容は以下のとおりであり、すべて原案どおり承認・議決されました。

任期満了に伴う次期理事・監事及び評議員の選任があり、理事3名、監事1名、評議員3名の方が新たに選任されました。

平成19年度予算について、その後の状況により当初予算を補正し、①減価償却引当資産等の1億3,000万円の用途を危機管理災害対策引当資産に全額流用する、②将来に備えた情報設備改善引当資産に1億円を新たに計上する、③JAPIC-Qサービスのイメージデータ向上のため、減価償却引当資産を取り崩し、改良経費3,000万円を計上することを説明し、承認されました。第三期中期3カ年計画及び平成20年度事業計画(案)について説明と討議がなされました。詳細はp.5をご参照ください。

平成20年度予算については、事業活動収入は13億1,700万円、事業活動支出は12億2,600万円であり、それぞれほぼ前年度並みを見込んでおります。事業活動収支差額は、9,100万円の黒字であるが、投資活動支出差額が1億2,000万円の赤字であり、当財団全体での収支差額は6,000万円の赤字となりますが、そこには予備費が5,000万円含まれており、ほぼ収支均衡の予算となっていることを説明し、承認されました。

なお、ご承認いただきました平成20年度事業計画は、先般会員の皆様へお届けいたしました。

「平成19年度第2回評議員会(通算第22回)」

3月10日(月) 15:00～16:35、当センター3階会議室

《議題》

- 1.次期理事・監事の選任について
- 2.平成19年度事業報告及び収支状況報告について
- 3.平成19年度収支予算の補正(案)について
- 4.第三期中期3カ年計画(案)及び平成20年度事業計画(案)について
- 5.平成20年度収支予算計画(案)について

「平成19年度第3回理事会(通算第108回)」

3月12日(水) 15:30～17:05、当センター3階会議室

《議題》

- 1.次期評議員の選任について
- 2.維持会員・賛助会員の異動承認について
- 3.平成19年度事業報告及び収支状況報告について
- 4.平成19年度収支予算の補正(案)について
- 5.第三期中期3カ年計画(案)及び平成20年度事業計画(案)について
- 6.平成20年度収支予算計画(案)について

【役員・評議員の異動】(※敬称略)

《理事》

退任: 青木 初夫(日本製薬工業協会 会長)
伊賀 立二(前 日本薬剤師会 副会長)
高岡 庸児(前 エーザイ専務執行役信頼性保証本部長)
新任: 土屋 文人(日本薬剤師会 副会長)
加納 則夫(エーザイ執行役信頼性保証本部長)
小林 英夫(アステラス製薬 営業本部DIセンター所長)
(任期:平成20年4月1日～平成22年3月31日)

《監事》

退任: 齊藤 勲(前 日本製薬団体連合会 理事長)
新任: 小雀 浩司(持田製薬 顧問)
(任期:平成20年4月1日～平成22年3月31日)

《評議員》

退任: 小雀 浩司(持田製薬 顧問)
小峰 健嗣(田辺三菱製薬 代表取締役副社長執行役員)
柴崎 正勝(元 日本薬学会 会頭)
中野 克彦(富山化学工業 取締役会長代表執行役)
依田 啓司(前 日本病院薬剤師会 副会長)
新任: 長野 哲雄(日本薬学会 会頭)
菅田 益司(富山化学工業 取締役代表執行役社長)
佐藤 秀昭(日本病院薬剤師会 副会長)
(任期:平成20年4月1日～平成22年3月31日)

※役員・評議員名簿につきましてはホームページに掲載しています。

身近な生薬学 — 知っておきたい園芸毒草 —

(財)日本医薬情報センター 医薬文献情報担当 榊原 統子 (Sakakibara Noriko)

近年、創薬の手法もめざましい発展を遂げ、抗体医薬や分子標的薬といった単語がもてはやされています。そんな現代薬学の礎を築いたともいえる生薬の起源植物が姿を変えて、現在、園芸の世界に広まっていることをご存じでしょうか。今回は、そのような美しい毒草をいくつかご紹介します。



【エンゼルトランペット(ブルグマンシア)】

6月頃、大きくエキゾチックなラッパ状の花を咲かせるナス科ブルグマンシア属の低木。下向きに垂れ下がったその特徴のある花を見かけたことがある方は多いのではないだろうか。エンゼルトランペットの和名は木立朝鮮朝顔といい、ダツラ(ナス科ダツラ属の一年草、別名チョウセンアサガオ)近縁種に当たる。かつては同種として扱われていたこともあり、どちらもダツラと呼ばれることがある。見分け方としては、ダツラ属は、花が上向きに咲き、果実にトゲがあるのに対し、ブルグマンシア属は、花は下向きで果実にトゲが無い点である。ダツラ同様、スコポラミン、アトロピン、ヒヨスチアミンを含み、種子や根の誤食による中毒が年間何件も報告されている。iyakuSearchにも「エンゼルトランペット種子によりベラドンナアルカロイド中毒症状を呈した乳児例」(小児科臨床58(2)273-276)として報告があるので興味のある方は参照してほしい。

【アコニタム】

言わずと知れたトリカブトの学名であるが、園芸店ではこの名前で流通していることが多い。7~10月に、名前の由来となった舞樂のかぶり物「烏兜」に似た美しい花をつけるキンポウゲ科のトリカブト属の多年草。園芸品種として流通している物は、毒性が少ないハナトリカブトが多いようである。ジテルペンアルカロイドの一種、アコニチンを含み、植物成分では最強の猛毒である。近縁のオオヒエンソウ属(デルフィニウム)も類似のアルカロイドを含んでいる。若芽や若葉が「ニリンソウ」や「モミジガサ」と似ており、誤食による中毒事故が起こっている。



【リコリス】

ヒガンバナ科リコリス属の多年草。9月ごろに花茎を伸ばして頂端に数個の花を付ける。園芸品種としては、赤色のほか黄色や白、ピンクなどがあり、花も大柄で見ごたえがある。生薬名は「セキサン」でアルカロイドとしてリコリンやリコリジノールを含み、誤食した場合は吐き気や下痢、ひどい場合には中枢神経の麻痺を起こして死にいたる。澱粉を多く含むため、昔は救飢植物として鱗茎をすり下ろして水にさらし食用にしたが、毒抜き時間が不十分であったり、長期間食して毒物が蓄積したために中毒を起こしたケースが多々存在する。



近年は、足を延ばさないと自然に触れ合えなくなっている反面、園芸品種として思いの外様々な植物を花屋で見かけるようになりました。学生の頃覚えた生薬のことを思い出しながら花屋の前を通ると、少しだけ新鮮な発見があるかもしれません。

*(写真はJAPICガーデンより転載)

【新着資料案内 平成20年3月5日～平成20年4月10日受け入れ】

図書館で受け入れた書籍をご紹介します。この情報は附属図書館の蔵書検索 (<http://www.libblabo.jp/japic/home32.stm>) の図書新着案内でもご覧頂けます。これらの書籍をご購入される場合は、直接出版社へお問い合わせください。閲覧をご希望の場合は、JAPIC附属図書館 (TEL 03-5466-1827) までお越し下さい。

〈配列は書名のアルファベット順〉

書名	出版社名	出版年月	ページ	定価
British National Formulary No.55 著者名/Dinesh K. Mehta ed.	BMJ Publishing Group	2008年3月	946p	¥9,453
嚥下障害とPEG 著者名/三原 千恵 編	フジメディカル出版	2008年3月	128p	¥3,150
Food Chemical Codex 6th Edition 著者名/U.S.Pharmacopeial Convention	U.S.Pharmacopeial Convention	2008年2月	1,231p	¥103,080
医育機関名簿 2007-08 著者名/羊土社名簿編集室	羊土社	2007年12月	669p	¥14,700
Index nominum -International drug directory 19th ed. 著者名/pharmaSwiss, Swiss Pharmaceutical Societ	Medpharm	2008年		¥58,213
医療を動かす HSP(東京大学医療政策人材養成講座)の活動記録 著者名/HSP活動報告委員会 編	幻冬舎	2007年12月	109p	¥1,260
医薬品の安全性確保システム FDA薬事規制改革への25の提言 著者名/米国アカデミー-医学研究所 著,NPO法人日本医学ジャーナリスト協会 監訳	じほう	2008年2月	360p	¥4,410
JAPIC 医療用医薬品集 普及新版 2008 著者名/日本医薬情報センター	日本医薬情報センター	2008年3月	1,520p	¥7,875
JAPIC 日本の医薬品構造式集 2008 著者名/日本医薬情報センター	日本医薬情報センター	2008年3月	211p	¥2,940
保険薬事典 Plus+ 平成20年4月版(適応・用法付 薬効別薬価基準) 著者名/薬業研究会 編	じほう	2008年3月	950p	¥4,830
科学機器入門 No.1 著者名/入江 照四 編	東京科学機器協会	2008年3月	241p	¥1,000
くすりについてのQ&A 著者名/福岡県薬剤師会薬事情報センター 編	福岡県薬剤師会	2008年3月	173p	
メルク獣医マニュアル 第8版 著者名/長谷川 篤彦,山根 義久 監修	学窓社	2003年5月	2,329p	¥29,400
日本造血細胞移植学会 平成19年度全国調査報告書 著者名/日本造血細胞移植学会データセンター	日本造血細胞移植学会データセンター	2008年3月	336p	
PEG器具の種類とマネージメント-ケアにおける要点とQ&A- 著者名/西口 幸雄 編	フジメディカル出版	2008年3月	117p	¥3,150
Practical GMP APPON General Guides (APPON GGs) 22Guides 著者名/Kazue Hasegawa	Association Pharmaceutical Producers of Nepal	2007年10月	570p	
体外診断用医薬品集 2008年版 著者名/日本臨床検査薬協会 編	ダイヤモンドプロダクション	2008年3月	343p	¥25,000
The Merck Veterinary Manual. Ninth Edition 著者名/Kahn, Cynthia M. Ed.	Merck & Co.,Inc.	2005年1月	2,751p	¥7,306
USP dictionary of USAN and international drug names 2008 著者名/The USP Convention,Inc.	USP Convention,Inc.	2008年	1,316p	¥56,260
薬効別薬価基準 保険薬事典 平成20年4月版 著者名/薬業研究会 編	じほう	2008年3月	830p	¥4,620

情報提供一覧

【平成20年4月1日～4月30日提供】出版物がお手許に届いていない場合、宛先変更の場合は当センター事務局 業務・渉外担当 (TEL 03-5466-1812) までお知らせ下さい。

情報提供一覧	発行日等	データベース一覧	更新日
〈出版物等〉		〈iyakuSearch〉	http://database.japic.or.jp/
1.「医薬関連情報」4月号	4月25日	1. 医薬文献情報	月1回
2.「Regulations View Web版」No.152	4月25日	2. 学会演題情報	月1回
3.「添付文書入手一覧」2008年3月分 (HP掲載)	4月25日	3. 医療用医薬品添付文書情報	月2回
4.「JAPIC NEWS」No.289	4月25日	4. 一般用医薬品添付文書情報	月1回
5.JAPIC「医療用医薬品集」2008更新情報2008年4月版	毎月末日	5. 規制措置情報	毎日
6.「JAPIC医療用・一般用医薬品集インストール版2008年4月版」	4月25日	6. 臨床試験情報	随時
〈速報サービス等〉… FAX、郵送、電子メール等で提供		7. 日本の新薬	随時
1.「医薬関連情報 速報FAXサービス」No.630-633	毎週	8. 学会開催情報	月2回
2.「医薬文献・学会情報速報サービス (JAPIC-Qサービス)」	毎週	9. 医薬品類似名検索	薬価収載時
3.「JAPIC-Q Plusサービス」	毎月第一水曜日	〈JIP e-InfoStreamから提供〉	https://e-infostream.com/
4.「外国政府等の医薬品・医療用具の安全性に関する措置情報サービス (JAPIC Daily Mail)」No.1680-1700	毎日	1.「JAPICDOC速報版 (日本医薬文献抄録速報版)」	月1回
5.JAPIC Weekly News No.150-153	毎週木曜日	2.「JAPICDOC (日本医薬文献抄録)」	月1回
6.「感染症情報 (JAPIC Daily Mail Plus)」No.236-239	毎週月曜日	3.「ADVISE (医薬品副作用文献情報)」	月1回
7.「PubMed代行検索サービス」	毎月第一・三水曜日	4.「MMPLAN (学会開催予定)」	月1回
8.JAPIC「医療用医薬品集」2008更新情報2008年3月版	毎月10日	5.「SOCIE (医薬関連学会演題情報)」	月1回
		6.「NewPINS (添付文書情報)」(月2回更新)	月2回
		7.「SHOUNIN (承認品目情報)」	月1回
		〈JST JDream IIから提供〉	http://pr.jst.go.jp/jdream2/
		「JAPICDOC (日本医薬文献抄録)」	月1回



添付文章の全ての項目が載っているのだから、使いやすいコンパクトな医薬品集が欲しいなあ...

36年の伝統を誇る医薬品集の使いやすい「普及新版」が登場!!

JAPIC医療用医薬品集 普及新版2008



価格・
ボリューム **1/2**

そんな声にお応えし、
重要な項目だけを抽出した
「医薬品集」普及新版を作成しました!

- 後発品の効能・用量の違いも反映した国内使用医薬品約17,000製品を収録
- 投与上必須の効能・用法・使用上の注意に着目し抜粋。妊産婦・高齢者・小児等への投与は記載をまとめてコンパクトに
- 重要な項目はそのまま掲載!

掲載項目

- 一般名、製品名 ●組成(規格) ●効能・効果、用法・用量 ●警告 ●禁忌、原則禁忌 ●慎重投与 ●重要な基本的注意 ●相互作用(併用禁忌・併用注意) ●副作用 ●高齢者への投与 ●妊婦・産婦・授乳婦への投与 ●小児への投与 ●臨床検査結果に及ぼす影響

編集・発行 (財)日本医薬情報センター (JAPIC)

B5判 約1,500ページ
ISBN:978-4-903449-44-9
お申込先 ☎ TEL 0120-181-276

7,875円
(税込)

ガーデン

このコーナーは薬用植物や身近な植物についてのヒトクチメモです。
リフレッシュにどうぞ!!



肉厚の葉はやる気満々の実業家を思わせる。しかし、花はなかなか端正で、桜のころに咲く。英名はMoney treeというそうだ。べんけいそう科。 (ks)

かねのなるき

JAPIC ホームページより

<http://www.japic.or.jp/>

HOME

サービスの紹介

ガーデン

Topページ右下部の「アイコン」からも閲覧できます。